

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年	3年	類型	カレッジコース
教科書	新選日本史B			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				①	②	③	④	
1 学期	4	第2章	2 武家社会の形成と東アジア 2 倭寇と東アジアの交易 3 下剋上の社会と戦国大名 4 室町文化	○			◎	<p>学習のねらい</p> <p>一学期は、江戸時代の政治制度と文化現象を学び、日本社会の成熟について理解を深めます。また、幕末の歴史について学び、世界史の視点から日本をとらえます。</p> <p>二学期は、明治・大正・昭和と、日本の近代史について学び、日本がどのように近代化を達成し、成長していったかを理解します。</p> <p>三学期は、日本の戦後史を学び、日本とアメリカの関係を中心に冷戦構造や多極化について考察します。また、現代社会についての理解を深め、今後の課題についても考えます。</p> <p>学習の目標</p> <p>我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させる。各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>評価の観点</p> <p>① 関心・意欲・態度</p> <p>歴史的事象と現在の結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心をもって主体的に学習に取り組んでいるか。</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。</p> <p>③ 資料活用の技能</p> <p>日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。</p> <p>備考</p>
		第3章						
	5	1	ヨーロッパ文化との接触と国内統一 1 ヨーロッパ文化との接触	○		◎		
			2 織豊政権による全国統一		○		◎	
			3 桃山文化	◎		○		
	6	2	幕藩体制の成立 1 江戸幕府と大名・朝廷 2 身分制度の確立		○		◎	
			3 キリスト教禁止と鎖国	○		◎		
3		近世社会の発達と町人文化 1 幕府政治の進展 2 経済の産業の発達	◎	○				
7		3 学問の新傾向と元禄文化	○		◎			
	4	幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 1 幕藩体制の動揺と政治改革	○			◎		
		期末考査	○	○	○	◎		
2 学期	8		2 幕藩体制の危機			◎	○	
			3 新しい学問の形成と化政文化	◎	○			
	9	第4章	1 開国から明治維新へ 1 開国 2 幕府の滅亡 3 統一国家の成立			○	◎	
			4 近代国家をめざして 5 殖産興業と文明開化 6 明治初期の国際情勢		◎		○	
		2	立憲政治の形成と国民文化 1 政府専制への批判 2 立憲政治の成立 3 新しい文化の形成	◎		○		
	10	3	日本の近代化と東アジア 1 日清戦争と東アジアの変容 2 「中国分割」と日露戦争	◎		○		
			3 工業化と資本主義の発達 4 近代文化の発達 中間考査	○	○	○	◎	
		4	デモクラシーと第一次世界大戦 1 第一次世界大戦と日本	◎		○		
	11		2 新たな国際秩序と日本への影響	○			◎	
		3 大衆社会の形成		○		◎		
5		激動する世界と日本 1 揺れ動く経済と中国侵略の本格化	○			◎		
12		2 日中戦争と国内体制の改編		○	◎			
		3 太平洋戦争	◎			○		
	第5章	期末考査	○	○	○	◎		
3 学期	1	1	占領と国内改革 1 占領と日本国憲法の成立 2 冷戦の開始と経済復興		○	◎		
		2	国際社会への復帰と高度経済成長 1 国際社会への復帰と対米協調 2 経済の高度成長	◎		○		
		3 石油ショックと低成長の時代 1 1970年代の国際社会と日本 2 安定成長への転換		○		◎		
		4 新しい国際秩序と日本の課題 1 激動する世界と日本		○		◎		
2		2 停滞する日本経済と成長するアジア	○			◎		
		家庭学習		○	◎			
		学年末考査	○	○	○	◎		
3								

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：資料活用の技能 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【日本史Bの勉強方法の特色】

- 日本史Bでは、日本の文化や生活がどのように成立・発展し、現在の日本を形成してきたのかを学びます。
- 予習・復習を必ずするようにしましょう。特に教科書をよく読むようにしましょう。
- 興味を持って、授業に取り組むようにしましょう。
- 日本の文化や社会の発展に興味を持ち、理解するように努力しましょう。

【授業】

- 授業では以下のことに注意してください。
 - 1 教科書を何度も読み、興味や疑問を持ちましょう。
 - 2 基本的用語については、調べて、その意味を確認しましょう。
 - 3 ノートをきれいに整理し、理解しやすいように努力しましょう。

【家庭学習】

- 教科書を繰り返し読みましょう。
- 理解できない用語は、辞書等で調べてみましょう。
- ノートは自分で工夫して、理解しやすいように工夫しましょう。
- 授業等で感じた疑問は、必ず調べたり、質問して理解するようにしましょう。

【定期考査】

- 教科書・ノートを繰り返し読みましょう。
- 重要な語句は、覚えるように努力しましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③資料活用の技能・表現 ④知識・理解の四つの 観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	単元テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均